



クラブテーマ 「一人ひとりが輝こう」  
出会いと絆を大切に



会長：北 健司 例会日：金曜日 12:30～13:30  
副会長：加藤久仁明 例会場：ホテルプラザ勝川  
副会長：伊藤 一裕 事務局：春日井市鳥居松町 5-45  
幹事：青山 博徳 TEL:(0568)81-8498 FAX:(0568)82-0265  
会報委員長：朽本 正樹 E-mail : ksgi-rc@gaea.ocn.ne.jp

本日のプログラム

・点 鐘	司会	会場委員会
・ROTARY SONG	会長	北 健司君
・今月の歌	「四つのテスト」	
・ピジター紹介	「我は海の子」	
東尾張分区ガバナー補佐	会長	北 健司君
RI 第 2760 地区副幹事		山田 直樹君
東尾張分区 分区幹事		片平 博己君
・食事・歓談		森井 晴生君
・委員会報告		
・会長挨拶	会長	北 健司君
・補佐講話	ガバナー補佐	山田 直樹君
・幹事報告	幹事	青山 博徳君
・点 鐘	会長	北 健司君
・今月の歌		

「我は海の子」  
われは海の子 白浪の  
さわぐいそべの 松原に  
煙たなびく とまやこそ  
わがなつかしき 住家なれ

先週の記録

会長挨拶 会長 北 健司君

「親睦と奉仕」

皆さんこんにちは。今日も例会への出席、ありがとうございます。今日は「親睦と奉仕」について少しお話をさせていただきます。皆様ご存じのとおり、ロータリーは「例会に始まり、例会に終わる」と言われるほど例会が重要であります。会員として出席義務があるから例会に来るのではありません。例会が最も重要な場であるから出席義務としているのです。太宰治の小説「葉」の冒頭に「選ばれてあることの恍惚と不安、二つ我にあり」とあります。これは詩人ヴェルレーヌの言葉であります。ヴェルレーヌの真意はともかくとして、ロータリーは誰もが希望すれば入れるというものではありません。選ばれた者の集まりであります。ロータリアンである

基本教育と識学向上月間／ロータリーの友月間

＜アプローズ＞  
2019年8月30日(金)2416回(8月第4例会)

ことの喜びと共にロータリアンとしての誇りと自覚を持ちたいものであります。

ロータリアンは各界でそれぞれに活躍をされており大変忙しい。そんな忙しい人たちが何故一週間に一度寄り集まって例会に参加するのでしょうか。ロータリー運動を表して、「入って学び、出でて奉仕せよ」という言葉があります。さまざまな職業から選ばれた裁量権を持った職業人が、週一回の例会に集い、例会の場で、分かち合いの精神による事業の永続性を学び、友情を深め、自己改善を計り、その結果として奉仕の心が育まれてきます。ロータリーではこの例会における一連の活動を「親睦」と呼びます。ロータリーの本質はこの親睦の中から自己を研鑽し、奉仕の心を高めることにあります。これは例会に出席してこそ実現できることであります。

ロータリーでは有用な職業はすべて正業と考えるロータリーの職業観から、職業の貴賤(きせん)や上下関係を認めていません。大会社の社長も小さな商店の店主も、元請けも下請けも、すべて平等であり、世俗の論理や縦社会のしがらみ一切を認めていないのであります。毎週の例会に出席することで、気兼ねのない話し合いや笑いのある楽しい雰囲気の中で醸し出された会員同志の尊敬と信頼のエネルギーが自己研鑽となり「人の身になって考え、人のお役に立つ」という奉仕の心を生み出し、高めていくことができるのです。

ロータリーの目的は、意義ある事業の基礎として奉仕の理念を奨励し、これを育むことにあります。「親睦と奉仕」とは「奉仕の心の形成と奉仕の実践」であります。例会で高められた奉仕の心を持って、それぞれの家庭、職場、地域社会に帰り、さらなる高みを目指した奉仕活動を実践したいものであります。最後に日本ロータリーの創始者である米山梅吉翁の「例会は、ロータリアンにとって人生修養の場所だ」という言葉をお伝えし、本日の会長挨拶とさせていただきます。ご清聴ありがとうございました。

例会予定	9月6日(金)	9月13日(金)	9月20日(金)	9月27日(金)
	第3回理事会 11:15～ 卓話 小牧 RC 江崎 柳節君	祝福 卓話 新美 治男君 水上 耕一君	ガバナー公式訪問 (3RC 合同例会)	休会 (定款 8-1)

**幹事報告****幹事****青山 博徳君**

★28日水曜 小牧RCの例会に会長・幹事揃って訪問して参りました。

★本日13時40分からガバナー補佐をお迎えし第二回クラブ協議会が開催されます。対象者は例会終了後速やかに移動をお願いします。

★11月20日(日)地区大会への参加登録の締切間近です。登録義務者のみならず多数の登録頂きたく、詳細は幹事までご連絡下さい。

★先週先々週と例会時のフードロスゼロが達成できました。引き続き例会への出欠連絡の徹底をお願いします。

**◎例会変更のお知らせ**

名古屋空港 R C	9月9日(月)→9月20日(金) ガバナー公式訪問の為
愛知長久手 R C	9月10日(火)→9月11日(水) ガバナー公式訪問の為
瀬戸北 R C	9月10日(火)→9月11日(水) ガバナー公式訪問の為
名古屋城北 R C	9月10日(火)→9月10日(火) 夜間例会の為
名古屋錦 R C	9月11日(水)→9月17日(火) 名古屋名北RC合同例会の為
瀬戸 R C	9月11日(水)→9月11日(水) ガバナー公式訪問の為
名古屋丸の内 R C	9月12日(木) 同日18:30~ 納涼例会の為
尾張旭 R C	9月13日(金)→9月11日(水) ガバナー公式訪問の為

**◎例会休会のお知らせ**

名古屋名駅RC 9月11日(水)休会

**出席報告****委員長 藤川 誠二君**

会員 53名	欠席 19名	出席率 64.2%
先々週の修正出席	欠席 2名	出席率 96.1%

**ニコボックス委員会****委員長 梅村 守君**

○本日卓話よろしくお願ひします。青山 博徳君  
西村 輝幸君

○ワールドカップラグビー日本対南アフリカのチケット2枚手に入りました。9/6熊谷まで行きます。山田 治君

○今週インターアクト主催の日本語を学ぶ学生さんとの交流会に朽本さんに行ってきました。和田 了司君

○青山幹事の卓話を聞く楽しみで 宅間 秀順君  
○本日のゲスト野間さん、森部さん参加ありがとうございます。三上 努君

○多分、きっと、おそらく入会を検討してもらえ  
る様な、もらえない様な青年部の仲間がビジタ

ーできています。よろしくお願ひします。

下田 育雄君

○卓話楽しみにしています。

足立 治夫君	稲垣 勝彦君	梅村 守君
大原 泰昭君	加藤久仁明君	加藤 茂君
川瀬 治通君	北 健司君	近藤 太門君
清水 勲君	芝田 貴之君	社本 太郎君
朽本 正樹君	内藤 修久君	中川 健君
長曾 篤志君	西尾 隆史君	早川 八郎君
速水 敬志君	藤川 誠二君	古屋 義夫君
松尾 隆徳君		

○ご協力ありがとうございます。

ニコボックス委員会

**卓話****青山 博徳君**

「高蔵寺ニュータウン51年目の最新事情」  
少子高齢化・人口減少の街の中で何が起きているのか。

&lt;高齢化&gt;

石尾台 45.96% 人口の約半分が65歳以上

高森台 33.01% 人口の三分の一65歳以上

春日井市全体を上回る3割を超える高齢化率

&lt;少子化&gt;

藤山台小学校に東藤山台小学校・西藤山台小学校の2校を統合

石尾台小(199名) 東高森小(151名) 押沢台小(202名)  
両校とも全校で6クラス・クラス別・白組紅組の分類不可中央台小学校は7クラス・岩成台小は8クラス子育て世代の居住地選定で地価やアクセスより大きな問題

&lt;人口減少&gt;

1995年 52,215人 17,764世帯 1世帯2.93人

2018年 43,182人 19,646世帯 1世帯2.19人

人口減にも増して、世帯人数の減が地域全体の負担増に

&lt;交通インフラ&gt;

高蔵寺駅発着バス本数

1995年 378本 2017年 282本

JR乗降客

1994年 49,378人 2014年 39,960人

通勤通学対象者減で、乗降客は勝川駅が肉薄、利用増加率は神領駅に・・・

ニュータウンの抱える問題は大きな商機でもある  
今後増える高齢夫婦世帯・高齢者一人暮らしの世帯、  
車に依存した住宅地ゆえの買い物難民・通院難民の  
出現などの問題は、5年後10年後の全国共通の問題  
であり、先進地である当地のビジネスチャンスでも  
ある。住民のほとんどが、高度成長期に中部地区の  
経済を支えた企業戦士で老後資金潤沢な世代である。

他地域と異なり高学歴・高収入・地縁血縁とは無縁の均一階層のシニア層が集中・密集して居住する全国的にも稀な「マーケット」を、どう活かすか医療・福祉の底辺を支えるのは行政の役割であるが、

そしてプラスαの幸せと安心を創造するのが民間事業者である私たちの役割である。

## 卓話

### 西村 輝幸君

「第一生命の社会貢献と活動について」

本日の卓話を担当させていただきます、東洋電機の松尾相談役にご紹介いただき、6月に、入会させていただきました第一生命の西村でございます。貴重なお時間をいただきまして、ありがとうございます。まずは、新入会員ですので、少しでも自己紹介をさせていただきます。私は、出身は「京都」です。昭和44年生まれです。今年で50歳となります。父親も、母親も銀行員（当時：住友信託銀行）で、何度か転校を経験しました。そういった経験上、学生時代は、絶対に転職のある会社は「避けたい」と思って就職活動しておりましたが、まさか、銀行よりも転職の多い生命保険会社に就職するとは思いませんでした。入社後は、本社融資業務部、その後、前橋支社、横浜北支社、本社販売促進部、教育部、渋谷総合支社、本社教育部を経て、支社長として、名古屋西支社、川越支社、そして、今年の4月より現在の名古屋東支社となります。現在、担当しております名古屋東支社は、所在地は大曽根の駅前になります。建物は十数年前に爆破されたビルとお話すれば、思い出していただける方が多くいらっしゃると思いますが、最近も、京都アニメーションの事件で、同様の爆発事件と紹介されてしまう機会が多く、少し残念な気持ちになりました。担当は、名古屋市の東区、北区、守山区の一部と、春日井市、小牧市、瀬戸市、尾張旭市と、大曽根から中津川までの中央線沿線を担当しております。現在、15の営業所と、400名ほどの営業職員と、指導者や事務担当が100名ほどで、合計500名ほどの陣容で日々業務を遂行しております。昨今の働き方改革の波は、弊社にも押し寄せており、効率化を推進する一方、目標は変わらないため、皆で日々奮闘しております毎日でございます。特に、春日井市のお客さまに多大なるご支持をいただいております。100名以上の職員が日々活動させていただいております。本当にありがとうございます。ここで、弊社の取り組みを一部ご紹介させていただきます。現在、皆さまも積極的に取り組まれておられますように、弊社も社会貢献活動に注力しております。

具体的には

- ① 女性の活躍推進を後押しするために、「自社保有不動産に保育園や学童保育を誘致」しております。近隣では、栄の弊社ビルに保育園を誘致いたしました。
- ② 次世代を担う子供たちをサポートするために、全国の小学校の新入学1年生に交通事故傷害保険付きの「黄色いワッペン」を贈呈しています。

③ 日ごろから地域に密着し、高齢者の方々と交流させていただいている弊社職員の訪問活動を活かし、高齢者が安心して暮らせる「見守り活動」を実施しております。

④ 地域の安全、安心のため、自治体・警察と連携し、不審な点を発見した際の連絡など、近年増加・高度化しております「振り込め詐欺を防止する活動」を行っております。ちなみに、昨年、わたくしが担当しておりました川越支社でも、2件の振り込め詐欺防止に貢献できました。そのうち1件は、長年の付き合いのあるお客さまでした。貯蓄性保険から目一杯、貸し付けを受けたいとの連絡があり、お金で困っているお客さまでもないのにと思いながら、電話の声を聴いていると、普段とは異なり、明らかに動揺した声であったため、一度、お会いしてお話を伺うことにしたそうです。実際にお会いして、喫茶店でお話を伺おうとしたら、外では困るとのことで、車の中で話を聞いたそうです。話を伺うと、すでに数百万を振り込み済みで、明らかに詐欺とわかる内容でした。もう、振り込むお金が手元にないので、お電話をいただいたようです。そのお客さまが信頼されている方と、警察に行ってください、ようやく詐欺だと気づかれたようです。弊社の職員は、お客さまの大事な財産を守ることができて良かったと申ししておりました。ちなみに、そのお客さまは30代だったので、銀行も気づかれなかったようです。私も、名古屋東支社で、このような、地域で喜ばれる、貢献できる職員を育成していきたいと思っております。

⑤ 弊社のお取引さまやネットワークを活かし、「企業さま同士の交流や新たなビジネスチャンスを生み出すためのイベント」も実施しております。愛知県でも、10月3日に、名古屋国際会議場にて、「ビジネスソリューションフォーラム」と銘打ち、実施いたします。ご興味のあるかたは、別途、御案内させていただきます。

⑥ お客さまの健康をサポートする活動として、「全国の市民マラソン大会への協賛やランニング教室の開催」などを実施しております。愛知県では、3月に実施されます「名古屋ウィメンズマラソン」にも協賛しております。

⑦ 春日井市においても、市よりご依頼を受けまして、「女性の就業意識に関するアンケート調査」を実施しております。さきほど申し上げましたように、春日井市で活動させていただいております100名以上の職員が、アンケート結果を春日井市にフィードバックし、今後の市のお取り組みに活かしていただくよう、日々、アンケート収集活動に尽力しております。弊社の社会貢献活動の一部をご紹介させていただきましたが、今後も、地域の発展のために少しでも貢献していきたいと考えております。さて、後半は、皆さんが人前でお話しされることが多いのではと思い、ご参考になればと、弊社で長く実施させ

ていただいております「サラリーマン川柳」の話をさせていただきます。「サラリーマン川柳」は、昨年で32回を数え、メディアでも取りあげられるなど、今では、多くの方に認知いただいております。5・7・5の17文字にこめられた思いを、これまでの入選作品から振り返ってみますと、「変わるもの」「変わらないもの」があることに気づきます。

「変わらないもの」の代表的なものは、「夫婦の絆」です。後で、見ていただきますが、何気ない夫婦のやり取りを詠んだ句が、毎年コンスタントに入選されています。一方で「変わるもの」の代表格は、経済情勢です。「サラリーマン川柳」の歴史を紐解いてみると、日本経済を振り返ることができますので、本日お配りしております、「サラ川で振り返る日本経済」を、ご一緒に見ていきましょう。

※「サラ川で振り返る日本経済」のご紹介

次は、「変わらない」夫婦の絆をご紹介します。

本日、もう一冊、お配りさせていただいております、昨年度の「第32回 サラリーマン川柳BEST100」の冊子をご覧ください。

※昨年度BEST100の中から、「夫婦の絆」を詠んだ象徴的な句をご紹介します。最後に、本日、様々なお話をさせていただきましたが、入会のご挨拶でも申し上げましたとおり、春日井ロータリークラブには、「弊社職員が日ごろお世話になっております地域に少しでも貢献したい」との気持ちで、お取引さまの松尾会頭にご相談申し上げ、入会させていただいております。これから、皆さまとご協力し、一生懸命、春日井の地域に貢献すべく、頑張る所存です。

今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。ご清聴、ありがとうございました。



卓話 青山 博徳君



卓話 西村 輝幸君



会長挨拶 北 健司君